

4月の事務ごよみ

経理・税務

●3月決算法人の決算事務

3月決算法人では帳簿を締め切り、預金等残高を確認し、試算表などの各種帳票を作成します。さらに、決算方針と確定した数字に基づいて、決算報告書の作成などを行います。

新年度は様々な事務手続きが重なりますから、事前に日程表を作成し、ミスなく確実に作業を進めましょう。

●3月決算法人の税務

法人税・消費税の申告・納付期限は、原則として事業年度終了日の翌日から2か月以内です（3月末決算法人は5月31日までです）。

決算事務の遅れが予想される場合には、事業年度終了の日までに申請書を提出すれば、申告期限を1か月延長することができま

す。この場合、利子税の課税を避けるため、5月末時点で税金を予納（見込納付）しておくのが一般的です。

●給与支払報告に係る給与所得者異動届出書の提出

1月に個人住民税の「給与支払報告書」を提出した後に退職したり、転勤

を伴う異動などにより、4月1日現在、その市区町村で給与の支払いを受けなくなった社員がいるときは、「給与支払報告に係る給与所得者異動届出書」を作成し、1月に「給与支払報告書」を提出した市区町村に提出しなければなりません。ことしの提出期限は4月17日です。

また、4月2日以降に退職したり、ほかの市区町村にある事業所に勤務するようになった社員については、1月に給与支払報告書を提出した市区町村に、異動があった日の属する月の翌月10日までに「特別徴収に係る給与所得者異動届出書」を提出します。

●扶養控除等（異動）申告書の受理と賃金台帳の調整

新入社員からは、扶養親族の有無にかかわらず、最初の給与計算を始める前に「扶養控除等（異動）申告書」の提出を受けます。

この申告書の情報をもとに、住所、氏名、税額表の適用区分といった必要事項を賃金台帳（一人別源泉徴収簿）に移記し、源泉徴収に備えます。

扶養親族に異動があった社員がいる場合も同様です。

「扶養控除等（異動）申告書」の提出を受けて、扶養親族数の修正等を行ないましょう。

●新年度の経営方針・計画の準備

新年度の経営方針・計画に必要な文書の作成や社内調整など、実務面では、経理部門が中心となつて行なうことが多いと思われます。

総務など他部門とも連携しながら、モレがないよう準備を進めましょう。

●固定資産税関連の縦覧・閲覧

固定資産税は、市町村長（東京都23区の場合は都知事）がその所有者や評価額、課税標準などを決定し、納付書を送付して納税を求める「賦課課税方式」が採用されています。

そこで、納付書の内容が適正なのかどうか、納税者自身がチェックできる制度が設けられています。

① 土地・家屋価格等の縦覧制度

土地や家屋を資産として所有し、固定資産税の納税義務者となっている者は、土地・家屋の価格等を記載した「縦覧帳簿」を縦覧し、所有する土地等の評価が適正であるかどうかを確認できます。

② 固定資産課税台帳の閲覧制度

固定資産税の納税義務者は、固定資産課税台帳を閲覧し、所有する固定資産の登録内容を確認できます。

①の縦覧期間は、毎年4月1日から、4月20日または最初の納期限の日のいずれか遅い日以後の日まで、②の

閲覧期間は原則として通年です。

●協会けんぽの保険料率の変更

2023年度の全国健康保険協会（協会けんぽ）の健康保険料率・介護保険料率は、3月分（4月納付分）から適用となります。都道府県ごとの保険料率は、協会けんぽのホームページ等で確認してください。

人事・労務

●新入社員の受入れ

4月に新入社員を迎える企業は、入社式、研修などの関連行事・事務を段取りよく進めましょう。新入社員が不安を抱くことのないよう、日時、集合場所、服装、持参するものなどについて、再度、確認しておきます。

入社後も、研修や仕事の進行状況、会社生活の様子などを確認しつつ、相談しやすい雰囲気づくりなど、必要に応じてフォローしていきましょう。

50[※]では、新入社員のエンゲージメントを高めるOJT（職場内訓練）の勘どころを解説しています。

●新入社員・退職者・転勤者の社保・

雇保の資格取得・喪失手続き

社員の入社あるいは退職があった場

合、健康保険・厚生年金保険は所轄の年金事務所（健保組合）に、雇用保険は所轄のハローワークに、次の期日までに資格得喪手続きを行なう必要があります。

① 入社Ⅱ被保険者資格取得届

健康保険・厚生年金保険は事由発生日から5日以内、雇用保険は事由発生日の属する月の翌月10日までです。

② 退職Ⅱ被保険者資格喪失届

健康保険・厚生年金保険は事由発生日から5日以内、雇用保険は事由発生日の翌日から10日以内です。

また、異なる適用事業所間での転勤の場合、健康保険・厚生年金保険について、転出事業所では資格喪失届を、転入事業所では資格取得届を、資格期間が重複しないように転勤日から5日以内に提出します。

雇用保険については、転勤日の翌日から10日以内に、転勤後の事業所の所在地を管轄するハローワークに「被保険者転勤届」を提出します。

●昇給に伴う基本給等の切替え

4月に昇給を実施した場合には、個人別の給与明細書等にも新しい基本給の金額を移記する必要があります。

基本給の切替えに応じて、時間外手当や各種手当などの計算も変わりますので、注意しましょう。

●家内労働委託状況届の提出

家内労働者へ内職等を委託している事業者は、4月1日現在の委託状況（業務内容・労働者数等）を記入した「委託状況届」を作成し、原則4月30日（ことしは5月1日）までに所轄の労働基準監督署に提出します。

●月60時間超の時間外労働に対する割増賃金率の引上げ

4月1日から、すべての事業者において、月60時間を超える法定時間外労働に対して50%以上の割増賃金率が適用されます。

労使間の合意があれば、賃金の割増の代わりに有給休暇を付与することも可能とされています。

●従業員1000人超の企業に対する男性育児休暇取得率等公表の義務化

4月1日から、常時雇用する労働者が1000人超の企業で、男性労働者の育児休業等の取得割合、または育児休業等と育児目的休暇を合算した取得割合の公表が義務化されます。

公表は、おおむね事業年度終了後3か月以内とされています。公表手段等については、厚生労働省のホームページ等で確認してください。

●2024年度新卒者の採用活動開始

政府が主導している就活スケジュールは「3月に採用情報公開・エントリー

4月の事務ごよみ

「受付開始」「6月に面接などの選考開始」ですが、実際には採用手法の多様化などを考慮して、このスケジュールよりも早めに推移することも考えられます。

またコロナ禍を経て、オンラインでの会社説明会や面接に対応することは、必須となっています。就活のオンライン化は、企業規模や地域性を問わずに採用の開口を広げる可能性があります。積極的に活用しましょう。

総務・法務

●3月決算法人の株主総会の準備

定時株主総会は、各事業年度の終了後、一定の時期に招集しなければなりません。一般的には、各事業年度終了後3か月以内（資本金1億円以下の法人は2か月以内）に開催します。

3月決算法人は、5月または6月に株主総会を開催することになりますので、遅滞なく準備を進めましょう。

70²では、株主総会の実務について解説しています。

●新年度の経営方針・計画の発表

新年度の経営方針・計画がまとまったら、その内容を社内報に掲載した

り、文書で配付したりして社員に徹底することが求められます。

また、会社の経営方針に従業員とも共有するため、「新年度経営方針発表会」「キックオフミーティング」などを開催する企業もあるようです。オンラインや動画を活用するなどの工夫も求められます。

総務が中心となって運営する場合、式典が円滑に行なわれるよう事前準備を進めましょう。

●下請法違反に注意

最低賃金の引上げ等による労務コストの上昇や、エネルギー価格などの上昇を取引価格に反映しない取引は、下請法の禁止行為である「買いたたき」に該当するおそれがあります。

公正取引委員会は、「下請代金支払遅延等防止法に関する運用基準」により、

① 価格の交渉の場において明示的に協議することなく、従来どおりに取引価格を据え置くこと

② 下請事業者が取引価格の引上げを求めたにもかかわらず、価格転嫁をしない理由を書面、電子メール等で下請事業者に回答することなく、従来どおりに取引価格を据え置くこと

は、「買いたたき」に該当するおそれがあることを明確化しています。

また、親事業者自らのコストアップを理由に支払期日を先延ばししたり、下請代金を減額することも、下請法の禁止行為に該当します。

●ゴールデンウィークの業務保全

取引先等に自社の休暇日程を伝えるとともに、先方の業務日程を確認し、配送・集荷、決済などに不都合が生じないように調整します。

社内的には、従業員から休暇中の連絡先等の申告を受け、緊急時に連絡が取れるようにしておきます。

また、休暇中の郵便物や新聞等の処理方法なども決めておきましょう。

●暖房器具の収納

不要になった暖房器具を清掃してから片づけます。収納の際には作動状態を点検し、不具合があれば修理しておきましょう。冷房関連器具も、早めに動作チェックをしておくとう安心です。

●衣替えの準備

6月から衣替えを行なう企業は、事務服・作業服の在庫やサイズ変更の要否を調べます。補充が必要なら、早めに手配しておきましょう。

来月の計画を立てるために

▽自動車税・軽自動車税の納期です
▽障害者雇用納付金の申告・納付期限です



民族の音楽 アルパ

ハープは長い歴史を持つ楽器の1つ。スペイン征服時代の16世紀に南米の国々に持ち込まれ、先住民によ

り独自の発展を遂げ「アルパ」と呼ばれる新たな楽器に変貌する。楽譜を使わず、目と耳で弾き方を覚えるアルパは、フォルクローレなどラテン音楽には欠かせないものとなっている。(切絵・文＝前田尋)

イベントガイド

◆第52回文京つつじまつり

日時：4月1日～4月30日

場所：根津神社（東京都文京区）

約100種3000株のツツジが、鮮やかに咲き競う。種類が多く開花時期が違うため、長期間にわたりさまざまなツツジを楽しむことができる。

◆INTERMOLD 2023

日時：4月12日～4月15日

場所：東京ビッグサイト

金型・金属プレス加工技術に関する専門見本市。ものづくりの基盤技術として

欠かせない、プレス加工の最先端の技術・情報を発信。

◆成田太鼓祭

日時：4月15日～4月16日

場所：成田山新勝寺ほか（千葉県成田市）

和太鼓や日本の伝統音楽のチームが、成田山と表参道を賑やかに盛り上げる日本屈指の太鼓祭。

◆Medtec Japan 2023

日時：4月19日～4月21日

場所：東京ビッグサイト

医療機器メーカーの製造・開発に関するアジア最大級の展示会。異業種参入の企業も多数参加。

◆OPIE'23

日時：4月19日～4月21日

場所：パシフィコ横浜

レーザーや光関連の大学・研究機関・企業の研究者・技術者が国外・国内から参集。学術的な国際会議と連携している国内唯一の大規模展示会として、国際的にも広く認知されている。

◆弘前さくらまつり 2023

日時：4月21日～5月5日

場所：弘前公園（青森県弘前市）

園内には約50種類2600本の桜が植えられ、ソメイヨシノ、八重桜と次々に花が咲く。日本さくら名所100選の1つ。